

金杉英五郎 かねすぎ ひろむね 耳鼻咽喉科醫學者、醫學士博士。渡邊元年七月十二日下總國生れ、昭和十七年一月二十六日歿（一八五一—一九四二）。號極到、極到道人、極樂道人等。明治二十年帝國大學醫科大學別科卒。翌年ドイツ留學、二十五年歸朝し、東京耳鼻咽喉科金杉病院を開業、我が國に於ける同科病院の嚆矢とほる。更い、慈恵會醫學專門學校講師として、初の耳鼻咽喉科を設けるなど、岡田村一郎と共に同科の二人権威と稱せられた。大正十年東京慈恵會醫大學長に就任、翌年貴族院議員。夙い文筆を能くして著述多く、漢詩、和歌にも長じた。

著書に『美聲法及雄辯法』（大正二年十一月十五日發行會堂）、『實用的人間學の一斑』（大正十四年六月二十五日保生舎「極樂餘閑集」）、『山陵の復古と精忠』（大正十五年九月二十一日日本醫學週報社）、『老齡防止法 并い美統保存法』（昭和二年十月一日啓明閣）、『義兵生誕二百年記念講演集』（他十二名合著、昭和六年二月十日京城・義兵生誕二百年記念會）、『赤穂事件の検討』（昭和九年六月一日日本醫學週報社）、『極到人物觀』（昭和十六年二月二十日宮越太陽堂書房）、『道理を語る』（昭和十六年五月二十八日古今書院）等。

